

**国語** (前期日程・100点)

2月25日(水) 13:30~15:00 (90分)

**注 意 事 項**

- 1 監督者の指示があるまで、この問題冊子および別の答案冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は12ページあります。別に答案冊子(答案用紙2枚)があります。
- 3 試験中に問題冊子および答案冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れ等に気付いた場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示に従って、2枚の答案用紙のそれぞれの所定の欄に氏名(1箇所)と受験番号(2箇所)を記入してください。
- 5 解答は答案用紙の所定の欄に記入してください。所定の欄以外に書いた解答は無効です。
- 6 答案用紙の縦線より右の部分には、氏名と受験番号のほかは記入してはいけません。下寄りに引かれた横線より下の部分には、なにも書いてはいけません。
- 7 問題冊子の余白は下書き用として使ってもかまいません。
- 8 試験終了時刻まで退室してはいけません。
- 9 試験終了後は、答案用紙2枚だけを監督者の指示に従って提出してください。
- 10 答案用紙以外は、すべて持ち帰ってください。

国語 (第1問・第2問)

第1問 次の文章を読んで、後の問1～問7に答えよ。なお、解答に字数指定のある場合は、句読点なども含むものとする。

(配点) 50点

著作権の関係により掲載できません。

著作権の関係により掲載できません。

著作権の関係により掲載できません。

問1 二重傍線部 a、h について、カタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで記せ。

問2 以下の文は傍線部 A、B 現れかたの異なる二つの喪失に対する感情について説明したものである。空欄 I と

II に当てはまる言葉として最も適切なものを語群 A、B、C、D、E の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

はかなさは喪失に対する感情であるが、いのちあるものに接している時にいつか到来するいのちの終わりを  
して生じる場合と、人間の力ではどうすることもできない事態を経験した後に人生のあつけなさを  
II して生じる  
I と  
場合とがある。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 受容 | イ 決意 | ウ 妄想 | エ 覚悟 | オ 実感 |
| カ 観念 | キ 達観 | ク 想像 | ケ 空想 |      |

問3 傍線部 B のいろは歌の一部は漢字仮名交じり文で書くことができる。漢字に直すべき箇所について、記入例にならって解答欄の歌の右側に傍線を付し、その横に漢字を記せ。

問4 空欄 ① にはある有名な随筆を著した人物の氏名、空欄 ② にはその表題が入る。それぞれ漢字で記せ。

問5 傍線部C「仏教的なはかなさは、二つの無力感に対し、独特な接近の仕方をしている。」とあるが、「二つの無力感」に対する「独特な接近の仕方」を端的に説明した箇所を本文中から二十字程度で抜き出し、最初と最後の五字を答えよ。

問6 傍線部D「はかなさは、「生きられる感情」ということになるだろう。」に示されている筆者の「はかなさ」の捉え方として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

ア 蓮如のようにいのちははかなく生きることが空しいと考えるのは間違いであり、はかないからこそ逆に生きること喜びを見出せるのだと筆者は考えている。

イ 生きとし生けるものは必ず死ぬのでありこの世は無常だといえるが、はかなさはこの無常の感覚をやわらげ、人生を再起させるはたらきがあると筆者は考えている。

ウ 蓮如はいのちのはかなさから現世ではなく来世に希望をもつしかないと考えたが、筆者ははかないからこそ現世で精一杯生きようとする気持ちが生まれるのだと考えている。

エ はかなさはいのちの終わりを予期させる感情だと考えられてきたが、そうではなくいのちの始まりを期待させる感情であると筆者は考えており、はかなさという感情に肯定的な意味づけを与えている。

オ 絶望的なはかなさの位置から蓮如は阿弥陀如来への信仰を説いたが、筆者ははかないからこそ来世で生まれかわることができ、新しい人生を歩むことが可能になると考えている。

問7 三段落目以降の内容を意味のある四つのまとまりに分けるとすれば、次のア～カのどれが最も適切か。記号で答えよ。

カ	オ	エ	ウ	イ	ア
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	↓	↓	↓
6	6	6	5	5	5
↓	↓	↓	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9
10	10	↓	10	10	↓
11	↓	10	11	↓	10
12	11	11	12	11	11
↓	↓	↓	↓	↓	↓
13	12	12	13	12	12
↓	13	13	↓	13	13
14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16

**第2問** 次の文章は、孔子とその弟子・子路の関係を描いた作品の一部である。これを読んで、後の問1～問6に答えよ。  
なお、解答に字数指定のある場合は、句読点なども含むものとする。

(配点) 50点

著作権の関係により掲載できません。

著作権の関係により掲載できません。

(中島敦『弟子』による)

著作権の関係により掲載できません。

問1 傍線部A「おかしいことに、子路の誇る武芸や膂力においてさえ孔子の方が上なのである。」とあるが、「おかしいことに」という表現には、どのような意味がこめられていると考えられるか。その説明となるように、以下の文章の空欄 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ に当てはまる言葉をそれぞれ後の語群ア～チから選び、記号で答えよ。ただし、同じ言葉は一度しか使えない。

孔子は様々な能力において優れているが、その特質は、いずれかが突出せず I を保っている点にある。ただ、内面のありかた II 的な能力とは III 的なものであつて一人の人間にどちらも優れて備わることはい、と見なされがちである。「おかしいことに」は、子路の武芸などの力をも上回るほど孔子があらゆる力に秀でていという事実により、こうした IV を覆しうることを暗に示している。

- |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| ア 不変 | イ 普遍 | ウ 理性 | エ 優位 | オ 劣位 | カ 均衡 |
| キ 発達 | ク 平凡 | ケ 同義 | コ 異論 | サ 通念 | シ 概念 |
| ス 理念 | セ 超越 | ソ 身体 | タ 対象 | チ 対照 |      |

問2 傍線部B「四十而不惑」をすべてひらがなで書き下し文に直せ。

問3 傍線部C「大いに欣んで聞いている」のはなぜか。その理由を具体的に三十字程度で説明せよ。

問4 傍線部D「人間の厚み」とはどういうことか。その内容の説明となるように、以下の文の空欄 I く IV に当  
てはまる最も適切な言葉をそれぞれの語群ア～タから選び、記号で答えよ。ただし、同じ言葉は一度しか使えない。

ここで言う「人間の厚み」とは、I に根ざした II 性から、高い III を有する IV 性に至る  
まで、人として極めて広い守備範囲を持っていることを指す。

- |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 形式 | イ | 内容 | ウ | 世間 | エ | 世俗 | オ | 超俗 | カ | 知性 |
| キ | 理性 | ク | 理想 | ケ | 感情 | コ | 現実 | サ | 自律 | シ | 他律 |
| ス | 依存 | セ | 倫理 | ソ | 道徳 | タ | 節度 |   |    |   |    |

問5 傍線部E「この男の純粋な没利害性」は、子路の側から孔子について述べている部分にもよくあらわれている。そのことを端的に示す箇所を本文中から三十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えよ。

問6 この文章全体から読み取れる孔子と子路の関係の説明として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

ア 子路は孔子の教えの全てを受け入れられないが、そのそばにいて自分の才知や徳を究めようと努めており、他方、孔子は子路の愚かさも含めて彼を愛すべき存在として受け入れている。

イ 子路にとつての孔子は、これまで会ったことのないスケールの人間で敬愛の対象であり、一方、孔子から見ても子路は破格の個性を持つ弟子だが、利害を超える純粹さを彼の美徳と考えている。

ウ 子路は一切の実利から離れたところで孔子を敬愛し続けており、孔子もまた、子路にとつての自分がそのような存在であるとは見抜いているからこそ、様々な愚かさを見逃して彼を理解している。

エ 子路にとつての孔子は、どうしても離れられないと同時に手の届かない遠い存在でもあり、一方、孔子から見た子路もまた、教えを容易に理解しない愚かさと同類の聡明さを併せ持っている。

オ 子路は孔子の教えにある形の重視や細部にどうしても納得できないものの、その根本を理解しうる弟子であるので、孔子も子路に厳しく向き合い、且つ類いまれな彼の純粹さを評価している。